

上島町の誕生に当って

上島町長職務執行者

佐伯 眞登



お互いに協力しながら一つの地域として発展してきました。

上島という総称も、京に近い上方に位置する島という意味（愛媛県史・地誌Ⅱ）であり、上島4ヶ町村は、救急医療、福祉、衛生、上水道、介護認定など、様々な分野で一部事務組合や協議会等により連携し、それぞれの町村の特性を生かし、創意工夫と努力により素晴らしいまちづくりを推進してまいりました。

この度の合併は、その素晴らしさを結集し、さらに大きく育ててゆくとするものです。

また、総合支所方式を採用し、管理・事務局部門を除き、従来の町村庁舎における行政機能をそのまま残し、住民サービスの低下を招かないよう配慮しながら、時間をかけて新町の一体感の醸成を図ることになっています。

とは言え、新町の将来には幾つかの課題があり、所期の目的達成のためには、今後、町民ぐるみでの取組

みが必要であります。

国・地方を通じての厳しい財政事情は、新町になっても決して楽観は許されません。一般的に小規模自治体ほど財政基盤が弱い上、地方交付税の縮減が進んでおり、今後厳しい財政運営が求められることになりました。

また、上島町は海域を隔てた離島同志の合併という特殊な地理的条件下であり、各地域間の交通通信体系の整備は緊急不可欠です。

ようやく事業化された上島架橋の一日も早い完成と、離島航路の整備充実により、地域間の交流を密にしながら、新町の速やかな一体化を促進し、住民福祉の増進と地域の均衡ある発展を図るべきであります。

この他、新町が目指す将来像である「新たな交流による人も自然も輝くまち・上島」の実現のため、お互いに知恵をしぼり、力と汗を出し合い、行政と住民の協働によるまちづくりの推進が重要であります。

豊かな自然と人情につつまれた、わがふるさと上島町が、厳しい時代の波を克服し、さらなる発展を遂げ、円滑な行政運営が推進できますよう、町民の皆様と関係各位のご理解とご協力をお願いし、ご挨拶いたします。

上島町スタート

『新たな交流による
人も自然も輝くまち・上島』
をめざして

平成16年10月1日、上島4ヶ町村（弓削町・生名村・岩城村・魚島村）の合併により、『上島町』が誕生しました。

私は、新しく上島町長が選ばれるまでの間、町長職務執行者として、重責を担わせていただくことになりました。短い期間ではありますが、新町の住民の皆さんにご支援いただき、職務を全うしたいと存じますので、よろしく願います。

今回合併いたしました町村は、いずれも非架橋の離島という、全国的にも珍しい事例ではありますが、上島一家という名のとおり、古くから